

(沿革)

一般社団法人 延岡市体育協会の沿革

昭和 27 年 4 月	『 延岡市体育協会 』 設立
昭和 30 年 6 月	延岡市体育協会補助金制度発足
昭和 34 年 4 月	体育協会として特にスポーツに対する貢献度の顕著なる者、又は団体として優秀な成績を残した功績に対し表彰制度を設けた。
昭和 36 年 3 月	第 1 回延岡西日本マラソン大会開催
昭和 36 年 5～7 月	第 1 回県北少年少女スポーツ大会開催
昭和 40 年 4 月	延岡市スポーツ少年団本部設立
昭和 42 年 10 月	第 1 回延岡市民体育祭開催
昭和 45 年 4 月	市民体育祭運営費及び各種目団体補助金等、本体協を通じて各加盟団体へ交付するようになる
昭和 48 年 2 月	延岡市民ロードレース大会開催
昭和 49 年 4 月	体育協会シンボルマーク図案を市民募集 体育協会旗正式決定
昭和 49 年 7 月	日独スポーツ少年団同時交流事業がスタート。 本市から 10 名程度が参加。
昭和 50 年 4 月	スポーツ教室開設。
昭和 53 年 4 月	延岡市体協要覧発行。
昭和 54 年 4 月	県北少年少女スポーツ大会の体協加盟団体に対し、優勝旗配分について理事会決定。
昭和 54 年 10 月	宮崎ふるさと国体秋季大会が開催される。 本市で柔道・バスケット・軟式庭球・サッカー開催。 延岡市体育協会の収益事業として自動販売機の設置
昭和 55 年 4 月	延岡市体育協会役員改選。
昭和 55 年 7 月	財団法人設立の研究視察。
昭和 55 年 10 月	ふるさと国体記念大会兼延岡市民体育祭の開催。 市民参加 3000 名
昭和 56 年 3 月	第 19 回延岡西日本マラソン大会 体育協会主催となる。 市による全国・九州競技大会出場補助金制度発足。
昭和 56 年 6 月	体育振興補助金交付基準制度発足。
昭和 56 年 10 月	市民体育祭 市民参加人員 6000 名

(沿革)

昭和 58 年 1 月	体協設立 30 周年記念誌発刊。 「体協の歩み」発刊。
平成 13 年 8 月	法人化設立準備委員会設置。
平成 18 年 2 月	延岡市・北方町・北浦町の合併に伴い、北方町体育協会 ・北浦町体育協会と合併し、それぞれ延岡市体育協会 北方支部・北浦支部とする。
平成 19 年 5 月	延岡市・北川町の合併に伴い、北川町体育協会を統合し、 延岡市体育協会北川支部とする。
平成 20 年 5 月	事務局を市民協働まちづくりセンターに移転。
平成 21 年 9 月	『一般社団法人延岡市体育協会』設立登記。
平成 23 年 4 月	延岡市から延岡市スポーツ少年団事務局事業を受託。 延岡市から延岡市スポーツ教室事業を受託。
平成 25 年 2 月	平成 24 年度第 2 回臨時理事会で 『発展推進ビジョン』提案、承認。
平成 28 年 6 月	自主財源確保対策として賛助会員募集をスタート。
平成 30 年 10 月	第 50 回記念延岡市民体育祭開催
平成 31 年 4 月	一般社団法人延岡市体育協会ホームページ開設。